

高知県立高等技術学校広報委託業務公募型プロポーザルの審査結果について

参加申込書の提出があった1社は資格要件を満たしていたため、企画提案書の提出を求め、審査委員会による審査（プレゼンテーション及び質疑応答）を実施した。

◇ 日時：令和4年5月20日（金） 9時30分から10時45分まで

◇ 場所：高知県立高知高等技術学校

1 審査結果

	参加者名	総合得点
候補者	株式会社ユーエスケー	378点

2 審査の項目

総合得点は500点（審査委員一人当たり100点）とし、審査項目ごとの審査委員一人当たりの配点は次のとおり。

- ・事業目的の理解 (20点)
- ・学校イベント (30点)
- ・オンライン広告 (15点)
- ・その他広報 (15点)
- ・実施体制・スケジュール (10点)
- ・過去の実績 (5点)
- ・見積金額 (5点)

3 候補者の提案に対する意見等

- ・キャッチコピーの「技術で、生きてく」という力強い言葉に全てが凝縮されている。
- ・イベントのチラシに小さい文字や漢字が多く、子どもには分かりにくい。写真等を活用してイベントのイメージを伝える工夫が必要。
- ・ものづくり教室への参加申込はオンライン（チラシにQRコード）申込だけでよいのではないか。
- ・イベントの名称が歴史民俗資料館のものと被っている点が気になった。
- ・直接ものづくりを匠に教えてもらえる機会はないので、「土佐の匠」イベントは興味をひかれる良い企画であると思う。
- ・実習棟への人員の配置が足りないのでは。立入禁止ポール等の工夫が必要ではないか。
- ・来場者の休憩用スペースを検討してはどうか。
- ・コロナ対策として検温済みシールを用意してはどうか。
- ・来場者数や滞在時間の見込が甘い。
- ・オンライン広告はそれぞれの層に合わせた媒体が考えられている。
- ・オンライン広告の効果のシュミレーションや運用スケジュールについては、過去の実績が活かされている。
- ・ジオターゲティング広告では工業高校付近に絞らず、普通科高校も対象としてはどうか。
- ・掲載媒体や時期、回数等は会社の強みだろう。
- ・昨年度も取り組んだ実績があり、本事業の理解度・貢献度は高い。

以上